

北陽だより

今年度の重点目標 「確かな学力と温かみあふれる北陽小」
伝え合う力を軸に

〈 学校教育目標 〉

◇考 え る 子
◇助 け 合 う 子
◇ね ば り 強 い 子
◇た く ま し い 子

よりよいかかわりをつくるために

校長 金崎 徳子

6月は、大きな行事の運動会、修学旅行を無事実施することができました。延期せず予定通りに実施できたのは3年ぶり。それだけでなんだか大きなノルマをクリアしたような感覚になってしまいます。この後予定している行事や活動も無事に実施でき、子ども達にとって実り多い学びの場となることを願っています。

今年度も第1回目のいじめアンケートが行われ、50件以上の「嫌な思い」をしたトラブルが上がってきました。いじめの定義は「児童生徒と一定の人間関係にある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む）で、その行為の対象になった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの」となっています。ですから、一定の人間関係の児童生徒（友達や、上級生、下級生）からの行為で「嫌な思い」をしたものは、継続しているか単発であるかに関わらず「いじめ」であることとらえることとなります。学校では、アンケートで上がってきたトラブルについて「いじめかどうか」にこだわらず、丁寧に聞き取りをして全教職員で把握し、必要な対応や指導を行っています。大人の感覚で「些細なこと」と軽く扱うのではなく、された側の気持ちに寄り添って対応しています。また、その行為に至った経緯なども含め、した側の言い分も丁寧に聞きます。ですが、「悪気がない」「ちょっとした悪ふざけ」という場合も多いので、相手はどう思うかをよく考えて行動することの大切さを繰り返し指導しています。

いじめが「0」であることに越したことはないのですが、このトラブルを通じて子ども達一人一人が人とのよりよい関係性をつくるコミュニケーション力を育むよいチャンスと捉えることも必要です。我が子が友達に意地悪なことを言ってしまった、してしまったという時に、「うちの子がそんなことをするはずはない」と我が子を信じることも時には必要ですが、子どもはまだ未熟で、成長途中です。親が思ってもいない失敗を我が子がすることもあります。思わぬ失敗をしてしまうことも含めて大切な我が子です。その子の価値は変わらず大切な我が子であるという気持ちを持ちつつ、してしまった行為をきちんと叱り、繰り返さないよう見守っていくことが大切だと思います。そういう私も子ども時代は気が強く、言葉もキツイ子どもでした。記憶にあるだけでも数回友達を傷つけてしまい、担任の先生に指導された記憶があります。友達から冷たくされて、自分のしてしまったことに気づいたこともありました。（当時傷つけた友達は、今も定期的に会う大事な友達です。）そんな一つ一つの経験も今の自分をつくる大事な一部分であると思っています。

学校はされた側の子どもを守ることが大前提ですが、人との関わりを学ぶ場であることも大事にしていきたいものです。

心配なこと気になることは遠慮なく学校へご相談ください。22-0498

北海道教育委員会の相談窓口

- ・北海道子ども相談支援センター（電話）0120-3882-56（毎日24時間）
（メール）doken-sodan@hokkaido-c.ed.jp
- ・北海道特別支援教育センター（電話）011-612-5030（祝日・年末年始を除く平日）
（メール）tokucensoudan@hokkaido-c.ed.jp
- ・後志教育局教育相談電話（電話）22-2222

今年度の合言葉 目と耳と 心で伝え合う 北陽っ子

☆寒い中、頑張りました！～運動会～☆

6月4日(土)は、6月にしては異例の低温の中でしたが、運動会を開催することができました。雨天が心配されましたが、運動会当日も、前日までの練習も、予定通りグラウンドで行うことができました。低・中・高学年に分かれての分散開催となり、いろいろと保護者の皆様方にはご不便をおかけしたところもあったと思いますが、皆様のご協力で、スムーズに進行することができました。PTA保体部および広報部の皆様方には、お手伝いもしていただき、ありがとうございました。今後とも本校の教育活動にご理解ご協力をよろしくお願いします。



☆行ってきました！6年修学旅行☆

6月15日～16日にかけて、6年生は修学旅行に行ってきました。22名全員、元気に参加できました。函館では、予定していた場所が臨時休業等のアクシデントがあった班もありましたが、その場で考え適切に対応できました。修学旅行のまとめを行い、「楽しい思い出」に加え「確かな学び」も行っていきます。



☆地域とともにある学校づくり☆



6月28日(火)、第1回地域交流懇談会を行いました。町内会の会長、民生児童委員、青少年育成部長、学校運営協議会委員、PTA三役、教育委員会社会教育係長、校長教頭合わせて18名が出席し、3年ぶりに開催いたしました。

出席者から、「子どもが気持ちのよい挨拶をして嬉しい気持ちになる。」「集団登校の際、上級生が1年生の面倒をよく見てくれていた。」など、子どもたちのよいところを教えてくださいました。また、「自転車の乗り方」「道路で遊んでいたこと」「倶知安高校の通りで、7月以降大きな工事が入るので注意が必要」など、交通安全に関わることも教えていただきました。

地域の方々が、子どもを見守ってくださること、挨拶をしていただくこと、子どもたちが危ないことをしていたら注意していただくことは、大変ありがたいことです。

今後も、地域とともにある学校づくりを目指していきます。

北陽・羊蹄太鼓少年団

今年度の太鼓少年団の活動がスタートしました。

高田緑郎さん作曲の「羊蹄太鼓」「ニセコ連山太鼓」と、北陽小のためにつくられた曲「北陽太鼓」の練習をしています。

練習日：第2、第4木曜日15:00～16:30

(行事などで変わることがあります。)

※7月は7月7日(木)、7月14日(木)の2回です。

途中からの入団も受け付けています。(入団を迷っている場合は、体験もできます。)

入団希望、問い合わせは北陽小金崎(22-0498)まで



絵本の読み聞かせ～にじのひろば

毎週火曜日の放課後(13:25～13:45頃)、1・2年生を対象に、「にじのひろば」の皆様方が週ごとに交代しながら、絵本の読み聞かせをしてくださっています。参加した子どもたちが食い入るように見入ったりして、大変有意義な時間をすごしています。

読み聞かせボランティアに興味のある方、ぜひ学校までご一報くださいね。随時メンバー募集中です。

北央コミュニティ婦人部様より、たくさんの雑巾の寄贈がありました。子どもたちのサイズに合わせて作ってくださり、とても使いやすいものです。ありがとうございました。